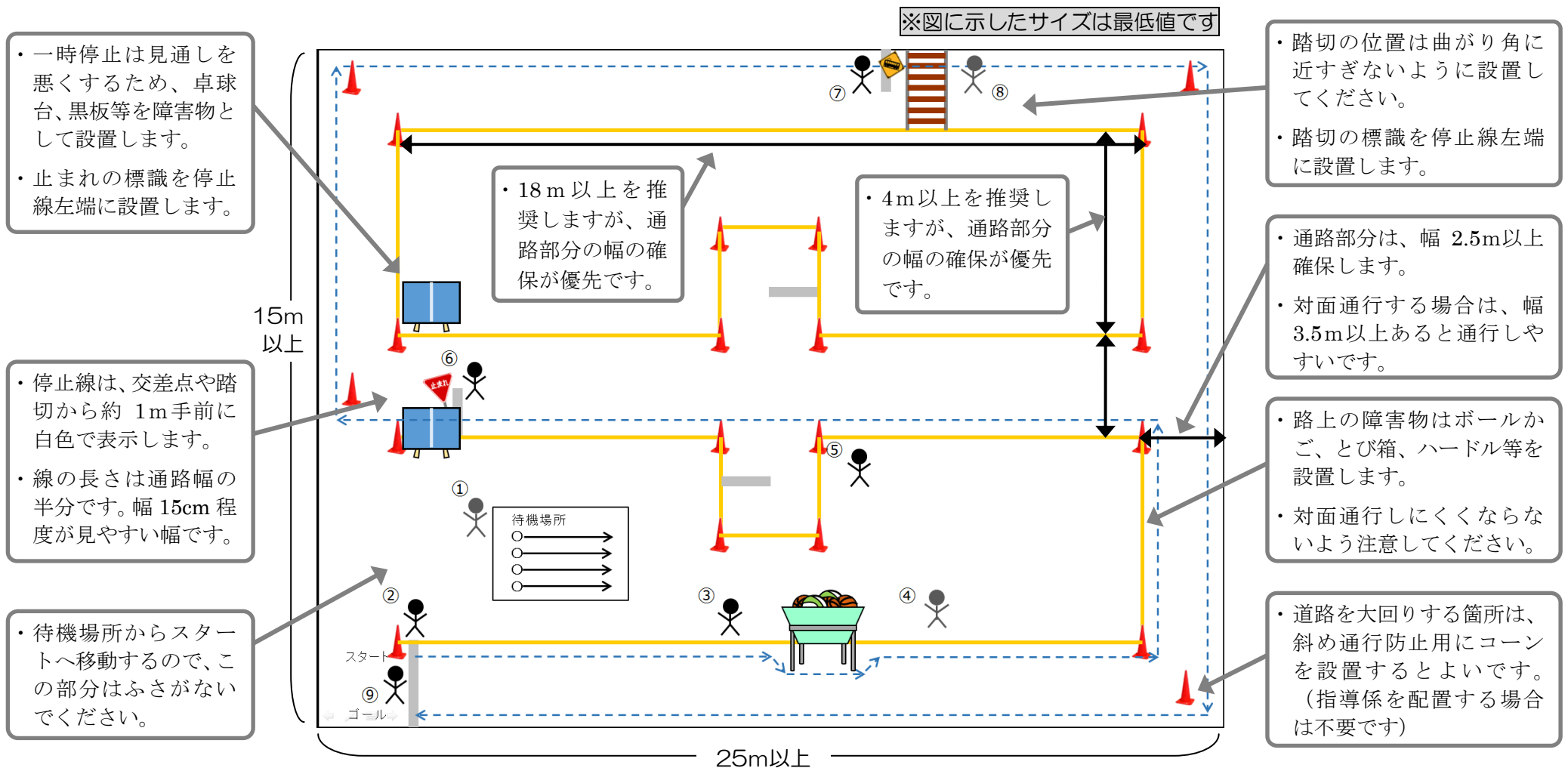


## 自転車指導のコース設置目安

屋内・屋外 共通事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>コースは大きいほど走行しやすいので、なるべく大きく作ります。配置等は下の注意事項等を参照してください。</li> <li>受講者が道路や障害物の見立てを理解できるよう、走行前にコースと各地点について説明してください。</li> </ul>
屋内（体育館等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>コースの大きさは体育館全面を推奨します。コースの外周は体育館の壁を利用します。コースのその他の部分は、コーンの上部にスズランテープを巻き付けて仕切ります。</li> <li>スタートの線、一時停止・踏切の停止線、踏切部分の表示は色ガムテープやビニルテープ等を床に貼り表示します。</li> </ul>
屋外（グラウンド等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>コースの大きさは200mトラックの内側全体程度を推奨します。コースの線及び停止線等は、地面に白線を引いて表示します。</li> </ul>



# コース作成実例

障害物の例

屋内

ゴールかご、跳び箱等を配置



一時停止の例

屋内

卓球台、黒板等を配置



屋外

ハードルや車両を配置



屋外

風で倒れないよう注意。車両でもよい

